

令和3年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

事業実施報告書

- I スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び
- II マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成
- III スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築
- IV 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成
- V スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成

道府県・政令市名【 京都府 】

学校名【 京都府立洛北高等学校 】

1 実践テーマ	【 III・V 】
2 実施対象者	京都府立洛北高等学校 講演会（実技含む） 1年生 280名
3 展開の形式	（1）学校における活動 ① 教科名（ 保健体育 ） ② 行事名（ 人権学習 ）
4 目標 （ねらい）	生徒たちが実際に車椅子に乗り、車椅子バスケットボールを経験する事と、選手の方々の人生や体験談などを直接聞くことによって、パラリンピックの4つの価値（勇気・強い意志・インスピレーション・公平）や共生ということをしかりと感じ取らせる。また、車椅子バスケットを体験することによってスポーツを楽しむ心を育む。
5 取組内容	<p>令和3年11月26日（金）5・6時限目 オリパラ推進事業・人権学習 講演会（実技含む） 「ともに生きる～車椅子バスケットボールを通じて～」 講師 京都UPS（アップス）監督 坂野晴男氏 実技指導 京都UPS（アップス）山本英嗣選手・東 武志選手 ギミックス 近藤俊樹選手 奈良 DEER 川上芳則選手 レイク滋賀 八橋隆二選手・宮本涼平</p> <p>（1）車椅子バスケットボールを通じて… ①講演会（実技含む）の内容</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p>講師の先生方の紹介と車椅子の操作やボールスキルについて坂野氏から、講師の先生方の紹介や車椅子の扱いについての説明が行われました。体育理論やホームルームを通じて、車椅子バスケット東京オリンピックパラリンピックの映像やルール of 事前学習などもあり、講師の先生方のデモンストレーションに興味深く見入っていました。</p>



デモンストレーションを見学、1年生全員が実際に車椅子を体験

その後、講師の先生方の指導の下で、生徒達も車椅子に実際に乗り体験しました。真っすぐ進むことやコーンを回ることなど、簡単そうに見えましたが、いかに難しいものか知ることができました。特にバックや急な方向転換はコントロールができませんでした。



クラス対抗で車椅子バスケットボールの試合を体験

クラス対抗で車椅子バスケットボールの試合を実施し、シュートが入ったり長いパスが繋がるなど、ナイスプレーがある度に大いに盛り上がりました。



クラスごと分かれて選手が想いを語った

実技のあとは、各クラスに1名の講師の先生がついて、これまでの人生や自分の障害、その時の心境や心の変化・成長について話していただきました。実際に苦しかったことやそれを乗り越えてきた体験談など、思いを聞くことができ、生徒たちの心に残る素晴らしい時間となりました。

6 主な成果

今年度は東京オリンピックパラリンピックが開催されたこと、事前学習としてルールや映像も見ていることもあり、関心が高かったように感じる。実際に選手の方々からの体験談を直接聞くことによって「共に生きる」共生ということを強く感じ取り、深く考えるさせるきっかけとなった。また人生において様々な障壁を乗り越え挑戦されている選手の皆様の言葉には、思いや重みがあり、勇気や強い意志が感じられ、生徒の心に深く響いている様子であった。

	<p>パラリンピックの4つの価値（勇気・強い意志・インスピレーション・公平）の重要性を深く知ることができた。</p>
7 実践において工夫した点（事業の特色）	<p>生徒の心に響くよう、知識を詰め込むだけの取り組みにならないよう、次の3点について工夫した。</p> <p>①事前学習として東京オリンピックパラリンピックの映像を見せルールなどについても学んだ。</p> <p>②生徒全員が車椅子を体験する、体験型学習。</p> <p>③体験を通して選手の方とコミュニケーションをとった後に、選手の方々の障害についてやこれまでに人生について直接お話をしていただき、生徒からの質問などディスカッションの時間を設けた。</p>
8 主な課題等	<p>主体的な学びを促すために課題学習や調べ学習などの時間を確保し、積極的に学べるような環境を提供する必要がある。</p> <p>また、今後も車椅子バスケット体験学習が継続できるよう、予算の確保など調整していきたい。</p>
9 来年度以降の実施予定	<p>予算の問題もあるが、できる限り実施の方向で検討したい。講演と体験によって学習効果はかなり高いと考える。人権学習として事前学習に工夫して取り組み、主体的な学びを促しながら東京オリンピックパラリンピック終了後も継続していきたい。</p>